

続柄()、(男・女、 歳)

リハビリテーション実施記録 (退院時)

1) 実施職種

- ・ P T (開始日: 月 日)
- ・ O T (開始日: 月 日)

2) P T・O T室実施内容

- ・ 座 位 訓 練: 未実施 実施 (開始日:)
- ・ 立 位 訓 練: 未実施 実施 (開始日:)
- ・ 平 行 棒 内 歩 行: 未実施 実施 (開始日:)
- ・ P T 室 内 杖 歩 行: 未実施 実施 (開始日:)
[杖種類等:]
- ・ P T 室 内 杖 な し 歩 行: 未実施 実施 (開始日:)
[杖種類等:]

3) 病棟実施内容

- ・ 病 棟 車 い す 駆 動 訓 練: 未実施 実施 (開始日:)
- ・ 病 棟 歩 行 訓 練: 未実施 実施 (開始日:)
- ・ 病 棟 A D L 訓 練 (車いす): 未実施 実施 (開始日:)
- ・ 病 棟 A D L 訓 練 (立位): 未実施 実施 (開始日:)
- ・ 屋 外 歩 行: 未実施 実施 (開始日:)
- ・ 退院直前トイレへの移動
(「できる活動」: P T・O T時能力。注意: 実生活での実行状況ではない)
 - ・ 自立度: 禁止 実施していない
独立 見守り 口頭指示 一部介助 全介助
 - ・ 使用歩行補助具等: 車いす T字杖 松葉杖 四点杖 歩行車
その他: 種類;

ADL 評価調査票 [手術施行医療機関] (骨折前の状況)

記入者: 看護師・医師・PT/OT・調査員・()

		受傷直前生活での実行状況 (やればできるのではなく、日ごろの生活で行っている状態)									コメント
自立度 ADL 等	禁止	行わず	行っている				杖・車いす、等				※口頭指導 直接身体に手を触れての「介助」は行っていないが、「口頭」で具体的に ADL のやりかたを指導している場合。
			自立	見守り	口頭指示	一部介助	全介助	無	有	種類	
日常の主たる屋外移動										<input type="checkbox"/> T字杖 <input type="checkbox"/> 四点杖 <input type="checkbox"/> シルバーカー <input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> その他()	主なものを 1 つだけ選択してください。
屋外歩行自立の人のみ記入										<input type="checkbox"/> T字杖 <input type="checkbox"/> シルバーカー	続けて歩行できる距離は？ <input type="checkbox"/> 100m 未満 <input type="checkbox"/> 100m~300m <input type="checkbox"/> 300m~1km <input type="checkbox"/> 1km 以上 走れますか？ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
階段昇降										<input type="checkbox"/> 手すり	
トイレなどへの屋内移動										<input type="checkbox"/> つたい歩き <input type="checkbox"/> T字杖 <input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> その他()	主なものを 1 つだけ選択してください。
排尿(昼)										<input type="checkbox"/> 和式トイレ <input type="checkbox"/> 洋式トイレ <input type="checkbox"/> ポータブル <input type="checkbox"/> しびん <input type="checkbox"/> オムツ <input type="checkbox"/> その他()	
排尿(夜)										<input type="checkbox"/> 和式トイレ <input type="checkbox"/> 洋式トイレ <input type="checkbox"/> ポータブル <input type="checkbox"/> しびん <input type="checkbox"/> オムツ <input type="checkbox"/> その他()	
食事										<input type="checkbox"/> 経口 <input type="checkbox"/> 胃瘻 <input type="checkbox"/> 経鼻 <input type="checkbox"/> 経静脈栄養 <input type="checkbox"/> その他()	
整容(歯磨き・洗面)										<input type="checkbox"/> 洗面台立位 <input type="checkbox"/> 洗面台座位 <input type="checkbox"/> ベッド上 <input type="checkbox"/> その他()	
更衣(着衣)										<input type="checkbox"/> 立位で実施 <input type="checkbox"/> 座位で実施	
靴の脱着											
入浴										<input type="checkbox"/> 一般浴槽 <input type="checkbox"/> 特殊浴槽 <input type="checkbox"/> ベッド上清拭のみ <input type="checkbox"/> その他()	
家事(調理、他、家事全般)											「自立」の場合、 訪問看護での家事援助 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

<受傷前の状況>
 外出頻度: ほぼ毎日 週4回以上 週2~3回 週1回、月1~3回 ほとんどなし
 外出目的: ほとんどなし 通院・通所 買い物 散歩、その他()
 使用寝具: ベッド 布団 その他()

大腿骨頸部骨折後の ADL 維持に關与する因子の調査
統計解析の予備結果

第 1 部 ハイレベルの ADL 維持に關与する因子の検討

I. 解析の概要

1. 対象半年までの全地区の統合したデータ

2. 解析の基本的な方針

骨折前の症例の ADL 評価において屋外活動が自立している群（「自立」のみ、今回は「見守り」は除外）について、半年後の時点で同等の ADL レベル（= 屋外活動が「自立」）が維持されている群と維持されていない群との間で統計学的に有意差のある項目を探った。

3. 対象

対象の総数：

入院時に屋外活動を自立して行っており、半年後の屋外活動のデータがそろっているものは 315 例あった。

この 315 例について半年後の屋外活動のレベルが

自立 160 例 -これを ADL 維持群とした

見守り 15 例 -これ以下を ADL 低下群とした（合計 155 例）

口頭指示 0 例

一部介助 15 例

全部介助 13 例

禁止、行わず 112 例

入院時の患者背景、患者状態、退院時の ADL、リハビリテーション、患者状態、半年後の患者背景、患者状態に記載された各項目について、この 2 群の間で有意差があるかを検討した。

両群の属性

ADL維持群：160例 男30、女130 年齢 78.893 ± 6.940

ADL低下群：155例 男18、女137 年齢 83.261 ± 7.223

⇒ ADL低下群は維持群より有意に高齢 ($p < 0.0001$)

両群で性比は有意差なし ($p = 0.1083$, χ^2 test; $p = 0.086$, Fischer's exact test)

入院時患者状態の各因子の関与

⇒ (1) 受傷場所 1

2群に有意差あり ($p = 0.0003$, χ^2 test; $p = 0.0001$, Fischer's exact test)

	自宅	病院・施設	その他、不明
ADL維持群	90	7	63
ADL低下群	99	36	20

⇒ (2) 受傷場所 2

2群に有意差あり ($p = 0.0014$, χ^2 test; $p = 0.0012$, Fischer's exact test)

	屋内	屋外	不明
ADL維持群	83	63	17
ADL低下群	115	36	4

(3) 受傷原因

2群に有意差なし ($p = 0.1051$, χ^2 test; $p = 0.0774$, Fischer's exact test)

	転倒	転落、事故	不明、その他
ADL維持群	127	15	18
ADL低下群	139	7	9

⇒ (4) Alb

2群に有意差あり ($p = 0.0036$, unpaired t-test)

ADL維持群 (n = 80)	3.779 ± 0.473
ADL低下群 (n = 85)	3.583 ± 0.201

➤ (5) Hb

2群に有意差あり (p < 0.0001, unpaired t-test)

ADL 維持群 (n = 143)	11.567 ± 1.827
ADL 低下群 (n = 145)	10.566 ± 2.030

(6) SaO₂

記録のある全症例について：2群に有意差なし (p = 0.5099, unpaired t-test)

ADL 維持群 (n = 123)	95.906 ± 2.475
ADL 低下群 (n = 108)	96.129 ± 2.659

そのうち酸素投与なしの症例だけを集計すると

2群に有意差なし (p = 0.5859 unpaired t-test)

ADL 維持群 (n = 108)	96.069 ± 2.410
ADL 低下群 (n = 97)	96.252 ± 2.441

「酸素投与あり」の症例は症例数が少ないため解析を行わず。

(7) PO₂

記録のある全症例について：2群に有意差なし (p = 0.1393, unpaired t-test)

ADL 維持群 (n = 97)	97.01 ± 14.22
ADL 低下群 (n = 102)	78.02 ± 13.17

そのうち酸素投与なしの症例だけを集計すると

2群に有意差なし (p = 0.3534, unpaired t-test)

ADL 維持群 (n = 84)	75.725 ± 14.244
ADL 低下群 (n = 91)	77.613 ± 12.591

「酸素投与あり」の症例は症例数が少ないため解析を行わず。

(8) PCO₂

2群に有意差なし (p = 0.5483, unpaired t-test)

ADL 維持群 (n = 72)	38.469 ± 7.812
ADL 低下群 (n = 102)	38.987 ± 6.862

(9) BE

2群に有意差なし ($p = 0.0732$, unpaired t-test)

ADL維持群 (n = 94)	1.100 ± 2.541
ADL低下群 (n = 97)	1.778 ± 2.644

(10) CRP

2群に有意差なし ($p = 0.1456$, unpaired t-test)

ADL維持群 (n = 128)	2.163 ± 3.364
ADL低下群 (n = 129)	2.782 ± 3.436

(11) 既往のうち、過去の骨折、骨粗鬆、運動器の障害、悪性腫瘍、心疾患、呼吸器疾患、腎疾患、高血圧、高脂血症、糖尿病、視力障害、聴力障害については2群で有意差なし。有意差があったのは、精神疾患、麻痺性疾患の2疾患のみ。

➤ 精神疾患の既往

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, Fischer's exact test)

	既往あり	なし
ADL維持群	6	154
ADL低下群	40	115

➤ 麻痺性疾患の既往

2群に有意差あり ($p = 0.0055$, Fischer's exact test)

	既往あり	なし
ADL維持群	3	157
ADL低下群	14	141

(12) 物忘れ度 [本人]

2群に有意差なし ($p = 0.1849$, χ^2 test; $p = 0.1675$, Fischer's exact test)

	なし、ときどき	しょっちゅう・意思疎通困難	不明・答えられない
ADL維持群	133	10	17
ADL低下群	80	12	63

(13) 物忘れの悪化 [本人]

2群に有意差なし ($p = 0.1427$, χ^2 test; $p = 0.0734$, Fischer's exact test)

	不変	悪化	不明・答えられない
ADL維持群	122	1	37
ADL低下群	73	4	78

➤ (14) 物忘れ度 [本人以外]

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test, Fischer's exact test とも)

	なし、ときどき	しょっちゅう	不明・答えられない
ADL維持群	102	13	45
ADL低下群	76	46	33

➤ (15) 物忘れの悪化 [本人以外]

2群に有意差あり ($p = 0.0065$, χ^2 test; $p = 0.0024$ Fischer's exact test)

	不変	悪化	不明・答えられない
ADL維持群	95	1	64
ADL低下群	83	11	61

➤ (16) 痴呆度

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test, Fischer's exact test とも)

	1~3	4~6	不明
ADL維持群	156	2	2
ADL低下群	122	27	6

入院時患者背景の各因子の関与

➤ (1) 要介護認定

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test, Fischer とも)

	なし	あり	不明
ADL維持群	129	29	2
ADL低下群	67	79	9

➡ (2) 介護保険サービス利用状況

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test、Fischer とも)

	受けていない	受けている	不明
ADL 維持群	133	21	6
ADL 低下群	85	61	9

➡ (3) 身障手帳

2群に有意差あり ($p = 0.0360$, χ^2 test; $p = 0.0252$, Fischer's exact test)

	なし	あり	不明
ADL 維持群	141	10	9
ADL 低下群	127	22	6

➡ (4) 住まい

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test、Fischer's exact test とも)

	一戸建、アパート	病院・施設	不明
ADL 維持群	152	3	5
ADL 低下群	125	27	3

(5) 同居者数

2群に有意差なし ($p = 0.5673$, χ^2 test; $p = 0.5552$, Fischer's exact test)

	同居者なし	あり	不明
ADL 維持群	99	60	1
ADL 低下群	101	52	2

(6) 配偶者

2群に有意差なし ($p = 0.0877$, χ^2 test; $p = 0.0867$, Fischer's exact test)

	あり	なし	不明
ADL 維持群	65	76	19
ADL 低下群	48	88	19

➡ (7) 仕事

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test、Fischer's exact test とも)

	何らかの仕事をしている	していない	不明
ADL 維持群	68	88	4
ADL 低下群	24	128	3

➤ (8) 主婦としての役割

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test、Fischer's exact test とも)

	あり	なし	不明
ADL 維持群	62	83	15
ADL 低下群	21	123	11

➤ (9) 趣味

2群に有意差あり ($p = 0.0003$, χ^2 test; $p = 0.0004$, Fischer's exact test)

	あり	なし	不明
ADL 維持群	75	79	6
ADL 低下群	43	110	2

(10) 社会活動への参画

2群に有意差なし ($p = 0.0188$, χ^2 test; $p = 0.0129$, Fischer's exact test)

	あり	なし	不明
ADL 維持群	25	126	9
ADL 低下群	11	142	2

退院時リハビリテーションの各因子の関与

(1) 術前 PT

2群に有意差なし ($p = 0.1280$, χ^2 test; $p = 0.1162$, Fischer's exact test)

	施行した	施行せず	不明
ADL 維持群	67	109	4
ADL 低下群	71	80	4

(2) 術前 OT : 施行症例少なく解析せず

(3) 術後 PT

2群に有意差なし ($p > 0.9999$, χ^2 test、Fischer's exact test とも)

	施行した	施行せず	不明
ADL 維持群	157	1	2
ADL 低下群	147	2	6

(4) 術後 OT

2群に有意差なし ($p = 0.7775$, χ^2 test; $p = 0.6544$, Fischer's exact test)

	施行した	施行せず	不明
ADL 維持群	2	89	69
ADL 低下群	3	68	84

PT、OT 室での実施内容

(5) 座位訓練

2群に有意差なし ($p = 0.1581$, χ^2 test; $p = 0.1322$, Fischer's exact test)

	施行した	施行せず	不明
ADL 維持群	101	52	7
ADL 低下群	109	38	8

(6) 立位訓練

2群に有意差なし ($p = 0.2259$, χ^2 test; $p = 0.1927$, Fischer's exact test)

	施行した	施行せず	不明
ADL 維持群	137	20	3
ADL 低下群	140	12	3

➡ (7) 平行棒内歩行訓練

2群に有意差あり ($p = 0.0359$, χ^2 test; $p = 0.0250$ Fischer's exact test)

	施行した	施行せず	不明
ADL 維持群	143	16	1
ADL 低下群	123	29	3

➡ (8) PT 室内杖歩行訓練

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test、Fischer's exact test とも)

	施行した	施行せず	不明
ADL 維持群	135	21	4
ADL 低下群	75	71	9

(9) PT 室内杖なし歩行訓練

2群に有意差なし ($p = 0.1161$, χ^2 test; $p = 0.0890$ Fischer's exact test)

	施行した	施行せず	不明
ADL 維持群	32	106	22
ADL 低下群	19	109	27

➡ (10) 病棟車イス移乗訓練

2群に有意差あり ($p = 0.0556$, χ^2 test; $p = 0.0439$ Fischer's exact test)

	施行した	施行せず	不明
ADL 維持群	84	67	9
ADL 低下群	98	48	9

(11) 病棟車イス駆動訓練

2群に有意差なし ($p = 0.1577$, χ^2 test; $p = 0.1264$ Fischer's exact test)

	施行した	施行せず	不明
ADL 維持群	39	109	12
ADL 低下群	27	117	11

➡ (12) 病棟歩行訓練

2群に有意差あり ($p = 0.0376$, χ^2 test; $p = 0.0361$ Fischer's exact test)

	施行した	施行せず	不明
ADL 維持群	88	64	8
ADL 低下群	65	79	11

(13) 病棟 ADL 訓練 (車イス)

2群に有意差なし ($p = 0.2066$, χ^2 test; $p = 0.1998$ Fischer's exact test)

	施行した	施行せず	不明
ADL 維持群	27	120	13
ADL 低下群	36	107	12

(14) 病棟 ADL 訓練 (立位)

2群に有意差なし ($p > 0.9999$, χ^2 test、Fischer's exact test とも)

	施行した	施行せず	不明
ADL 維持群	48	99	13
ADL 低下群	46	97	12

➡ (15) 屋外歩行訓練

2群に有意差あり (p = 0.0046, χ^2 test; p = 0.0033 Fischer's exact test)

	施行した	施行せず	不明
ADL維持群	23	123	14
ADL低下群	7	136	12

➡ (16) 退院のための病棟 ADL 訓練

2群に有意差あり (p = 0.0053, χ^2 test; p = 0.0039 Fischer's exact test)

	施行した	施行せず	不明
ADL維持群	79	76	5
ADL低下群	51	97	7

➡ (17) 自立度

2群に有意差あり (p = 0.0036, χ^2 test; p = 0.0030 Fischer's exact test)

	独立・見守り	口頭指示～全介助	不明・禁止
ADL維持群	57	22	81
ADL低下群	23	28	103

(18) 使用歩行補助具

2群に有意差なし (p = 0.9670, χ^2 test; p = 0.8234 Fischer's exact test)

	T字杖、4点杖、松葉杖	歩行器、車イス	不明
ADL維持群	60	17	83
ADL低下群	36	9	110

退院時患者状態の各因子の関与

➡ (1) 骨折分類

2群に有意差あり (p = 0.0034, χ^2 test; p = 0.0027 Fischer's exact test)

	頸部骨折	転子部骨折	不明
ADL維持群	78	78	4
ADL低下群	50	102	3

* 合併骨折、治療法については解析行わず

(2) 手術術式

2群に有意差なし ($p = 0.1822$, χ^2 test; $p = 0.1793$ Fischer's exact test)

	人工関節	内固定	不明
ADL維持群	62	84	14
ADL低下群	47	91	17

(3) Alb

2群に有意差なし ($p = 0.6331$, unpaired t-test)

ADL維持群 (n = 64)	3.004 ± 0.449
ADL低下群 (n = 71)	2.955 ± 0.714

(採血のタイミングについては両群で有意差がないことを確認済み)

➡ (4) Hb

2群に有意差あり ($p < 0.0001$ unpaired t-test)

ADL維持群 (n = 143)	10.061 ± 1.481
ADL低下群 (n = 141)	9.188 ± 1.430

(採血のタイミングについては両群で有意差がないことを確認済み)

(5) SaO₂

2群に有意差なし ($p = 0.8794$ unpaired t-test)

ADL維持群 (n = 102)	96.759 ± 2.395
ADL低下群 (n = 88)	96.795 ± 2.524

酸素投与なしの症例だけを集計すると

2群に有意差なし ($p = 0.2293$ unpaired t-test)

ADL維持群 (n = 17)	98.047 ± 1.416
ADL低下群 (n = 22)	97.145 ± 2.769

(6) PO₂

2群に有意差なし ($p = 0.7340$ unpaired t-test)

ADL維持群 (n = 20)	75.465 ± 13.349
ADL低下群 (n = 18)	77.117 ± 16.375

(6) PCO2

2群に有意差なし (p = 0.889 unpaired t-test)

ADL 維持群 (n = 28)	37.775 ± 6.977
ADL 低下群 (n = 18)	37.543 ± 5.502

(6) BE

2群に有意差なし (p = 0.7315 unpaired t-test)

ADL 維持群 (n = 28)	2.051 ± 2.492
ADL 低下群 (n = 18)	1.739 ± 3.636

(6) CRP

2群に有意差なし (p = 0.5951 unpaired t-test)

ADL 維持群 (n = 132)	5.143 ± 4.095
ADL 低下群 (n = 125)	5.437 ± 4.757

➡ (7) 物忘れ度 [本人]

2群に有意差あり (p = 0.0002, χ^2 test; p = 0.0001 Fischer's exact test)

	なし、ときどき	しょっちゅう	不明・答えられない
ADL 維持群	132	6	22
ADL 低下群	73	19	63

➡ (8) 物忘れの悪化 [本人]

2群に有意差あり (p = 0.0193, χ^2 test; p = 0.0155, Fischer's exact test)

	不変	悪化	不明・答えられない
ADL 維持群	121	2	36
ADL 低下群	73	8	74

➡ (9) 物忘れ度 [本人以外]

2群に有意差あり (p < 0.0001, χ^2 test, Fischer's exact test とも)

	なし、ときどき	しょっちゅう、意思疎通困難	不明・答えられない
ADL 維持群	99	10	51
ADL 低下群	74	44	37

➤ (10) 物忘れの悪化 [本人以外]

2群に有意差あり ($p = 0.0009$, χ^2 test; $p = 0.0004$ Fischer's exact test)

	不変	悪化	不明・答えられない
ADL維持群	84	2	74
ADL低下群	72	17	65

➤ (11) 痴呆度

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test、Fischer's exact test とも)

	1~3	4~6	不明
ADL維持群	146	3	11
ADL低下群	113	35	7

退院時ADLの各因子の関与

➤ (1) 日常の主たる屋外移動

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test、Fischer's exact test とも)

	自立	見守り~介助	不明
ADL維持群	74	79	7
ADL低下群	29	124	2

➤ (4) 階段昇降

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test、Fischer's exact test とも)

	自立	見守り~介助	不明
ADL維持群	48	7	84
ADL低下群	15	1	33

➤ (5) 屋内移動 [トイレなど]

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test、Fischer's exact test とも)

	自立	見守り~介助	不明
ADL維持群	125	100	12
ADL低下群	51	133	7

➡ (6) 排尿〔昼〕

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test、Fischer's exact test とも)

	自立	見守り~介助	不明
ADL維持群	133	23	4
ADL低下群	60	88	7

➡ (7) 排尿〔夜〕

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test、Fischer's exact test とも)

	自立	見守り~介助	不明
ADL維持群	132	24	3
ADL低下群	55	92	8

➡ (8) 食事

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test、Fischer's exact test とも)

	自立	見守り~介助	不明
ADL維持群	148	10	2
ADL低下群	108	40	7

➡ (9) 整容〔歯磨き、洗面〕

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test、Fischer's exact test とも)

	自立	見守り~介助	不明
ADL維持群	130	26	3
ADL低下群	73	78	4

➡ (10) 更衣

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test、Fischer's exact test とも)

	自立	見守り~介助	不明
ADL維持群	122	36	2
ADL低下群	51	96	8

➡ (11) 靴の脱着

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test、Fischer's exact test とも)

	自立	見守り~介助	不明
ADL維持群	122	28	10
ADL低下群	65	79	11

➡ (12) 入浴

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test、Fischer's exact test とも)

	自立	見守り~介助	不明
ADL維持群	68	84	8
ADL低下群	16	133	6

➡ (13) 退院先

2群に有意差あり ($p = 0.0002$, χ^2 test; $p = 0.0002$, Fischer's exact test)

	入院前と同じ	異なる	不明
ADL維持群	119	38	3
ADL低下群	82	67	6

半年後患者状態の各因子の関与

➡ (1) 骨折後の合併症

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test、Fischer's exact test とも)

	なし	あり	不明
ADL維持群	133	9	18
ADL低下群	107	36	12

(2) 物忘れ度 [本人]

2群に有意差なし ($p = 0.8436$, χ^2 test; $p = 0.3582$, Fischer's exact test)

	ない、時々	しょっちゅう	不明・答えられない
ADL維持群	72	1	87
ADL低下群	17	1	137

(3) 物忘れの悪化 [本人]

2群に有意差なし ($p > 0.9999$, χ^2 test、Fischer's exact test とも)

	不変	悪化	不明・答えられない
ADL維持群	63	0	88
ADL低下群	17	0	138

(4) 物忘れ度 [本人以外]

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test、Fischer's exact test とも)

	ない、時々	しょっちゅう・意思疎通困難	不明・答えられない
ADL維持群	69	5	86
ADL低下群	74	56	25

(5) 物忘れの悪化 [本人以外]

2群に有意差あり ($p = 0.0072$, χ^2 test; $p = 0.0032$, Fischer's exact test)

	不変	悪化	不明・答えられない
ADL維持群	78	5	77
ADL低下群	105	27	24

半年後患者背景の各因子の関与

➡ (1) 要介護認定の有無

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test、Fischer とも)

	なし	あり	不明
ADL維持群	82	78	0
ADL低下群	23	131	1

➡ (2) 要介護認定の変更の有無

2群に有意差あり ($p < 0.0001$, χ^2 test、Fischer とも)

	変更なし	変更あり	不明
ADL維持群	18	142	0
ADL低下群	121	33	1

➡ (3) 介護保険サービスの利用

2群に有意差なし ($p > 0.9999$, χ^2 test、Fischer's exact test とも)

	なし	あり	不明
ADL維持群	105	55	0
ADL低下群	100	54	1

(4) 身障手帳

2群に有意差なし ($p = 0.5375, \chi^2$ test; $p = 0.4799$, Fischer's exact test)

	なし	あり	不明
ADL維持群	138	16	6
ADL低下群	130	20	5

➤ (5) 住まいの変化

2群に有意差あり ($p < 0.0001, \chi^2$ test、Fischer's exact test とも)

	なし	あり	不明
ADL維持群	144	9	7
ADL低下群	89	62	4

(6) 家族・同居者の変化

2群に有意差なし ($p > 0.9999, \chi^2$ test、Fischer's exact test とも)

	なし	あり	不明
ADL維持群	144	4	12
ADL低下群	143	5	7

(7) 仕事：骨折前との変化の有無

2群に有意差なし ($p > 0.9999, \chi^2$ test、Fischer's exact test とも)

	なし	あり	不明
ADL維持群	145	3	12
ADL低下群	146	3	6

➤ (8) 主婦(夫)としての役割の有無

2群に有意差あり ($p < 0.0001, \chi^2$ test、Fischer's exact test とも)

	主たる主夫(婦)	それ以外	不明
ADL維持群	24	119	17
ADL低下群	2	141	12

➤ (9) 趣味：骨折前との変化の有無

2群に有意差あり ($p = 0.0322, \chi^2$ test; $p = 0.0276$, Fischer's exact test)

	あり	なし	不明
ADL維持群	17	122	20
ADL低下群	6	131	18